

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	現状は看護師が常勤配置となっているため、急変時などは速やかな対応が可能となっているが、今後、看護師が常勤配置でなくなった際に、スタッフが慌てることなく迅速かつ的確な処置が行えるように知識・技術の習得が必要と思われる。	全スタッフが基本的な医療知識を習得するとともに急変や自己発生時に的確な初期対応を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修などへの参加を通じて、職員間で知識を深める。 ・嘔吐時の対処方法などを実際に職員に体験してもらう。 ・本体施設の看護師と連携し、勉強会を行う。 	12ヶ月
2	2	開所当初に比べ地域とのかかわりは増えてはいるものの、今後、さらに関係性を深め当施設が地域の一員となれるような関係作りが必要。	日々の散歩や買い物他、地域行事への積極的な参加を行うことで地域との関わりを深めることができる。また、近隣の幼稚園や小学校の児童との交流の機会を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への積極的な参加。 ・近隣の幼稚園や小学校に対し、交流の機会の場の働きかけ。 ・近隣住民の方を運営推進会議などへ招待し、運営に対する意見を伺う場を設けるとともに、近隣の方が訪問しやすい雰囲気づくりをおこ 	12ヶ月
3	35	定期的に防災訓練を行っているが、自施設のみでの訓練となっているため、消防などの立ち合いのもとより実践できる訓練を行っていく必要がある。また、昨年に引き続き多くの職員が訓練に参加できるよう配慮が必要。	消防署職員立ち合いのもと、防災訓練を実施し、専門的な視点からの助言を受け、今後の訓練に活かすことができる。また、すべての職員の防災に関するスキルアップを図ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署職員に訓練を立ちあっていただき、専門的な視点より助言をいただけるよう依頼する。 ・昨年に引き続き同じ内容の訓練を複数回行うことで、多くの職員が訓練を体験できる機会を設ける。 	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。